

『生活の中の色彩学』～いろんな視点で立体絵画～

高知中学高等学校
増 田 和 剛

○学校紹介

私の勤務する高知中学高等学校は、明治32年に創設され112年の歴史と伝統を誇る学校で、学校法人高知学園として、幼稚園、小学校、短期大学、リハビリテーション学院を持つ、高知県で唯一の総合学園ある。県内外の方々には「学園」の愛称で広く親しまれています。人に信頼される人間の育成を校訓とし、輝かしい未来をめざし、正しい判断力、行動力、そして、社会に貢献する人間育成を目標に、個々の進路選択に応じた教育課程（総合・文理・特進コース）を編成している。



本校での美術教科は、1年次で美術Ⅰ〔総合コース・文理コース、特進コース（2単位）〕、2年次は美術Ⅱ〔総合コース、文理コース（2単位）〕、3年次は美術Ⅲ〔総合コース（2単位）・文理コース（3単位）〕を選択することができる。

■題材について

身近なものから、見る角度や方向を変えて、描きたいものを発見し、自分自身の感じ方、とらえ方でのびのび表現させる。平面から立体、そして平面へと視点を変えながら、思考をすることによって、モノの成り立ちを制作から学ぶ。

■対象学年：高校3年生（文理コース：39名）

■制作計画

(1) 制作目標

1. 普段の生活を振り返り、生活の中の色について再認識させる。
2. 描きたいところから描けるように、手がかりを与える。
3. ねらいにあった色調を色紙より選び出させる。
4. 遠近感、立体感などの表現や適切な技法を考えさせる。

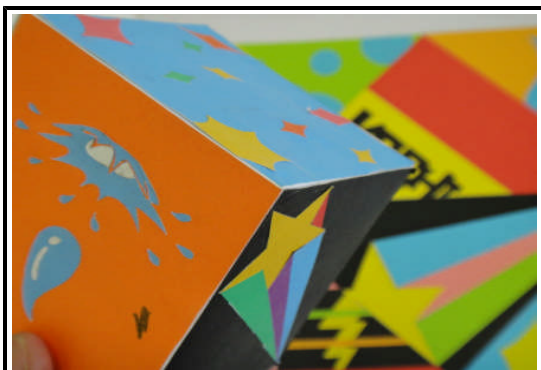
(2) 制作計画〈20時間〉

制作活動	時間	制作上の留意点	備考
1. 導入〈題材の理解〉	3	・身近な生活から色を感じる。 ・見る角度や方向を考え、形の組み合わせによっての見え方を考える。	イメージ作りの為の練習用プリント配布
2. 展開 (1) 立方体を制作 (2) 構図を考える (3) 色紙を貼り込む (4) 画面の解体 (5) 立体から平面	16	・立方体の6面に、思い思いの図案を考えさせる。 ・色紙により色調を工夫させる。 ・遠近感、立体感などの表現を工夫させる。 ・6面の完成後、一面の画面〈6分割〉に再構成。 ・それぞれの面から、一番自分が気に入っている部分を抜き出す。	*図案制作用プリント〈原寸大〉を配布 *立体から平面へ移行の際の図案作成シートを配布
3. まとめ	1	・各自の作品制作を振り返る。	
4. 評価		・ねらいが明確に出せるような構図であったか。 ・色調や技法はねらいにあったモノになったか。 ・作業の計画性や手順は十分であったか。 ・作りたいモノができ、制作を通じて新たな発見をする作品になったか。 ・作業に興味を持ち、熱中して取り組むことができたか。	

(3) 制作に必要な道具等

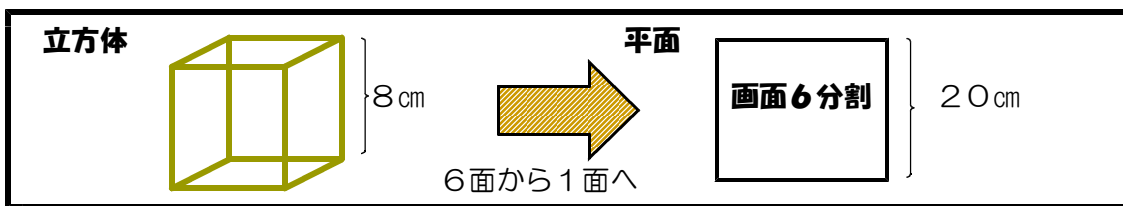
画用紙 色紙（トータルカラー50色 B6）はさみ カッター スティックのり
制作用封筒1枚（色紙や配布プリントを収納するため） 厚紙（30×30cm）

■ 平面から『立体絵画』、そして、『平面絵画』への挑戦



制作手順

- ①立方体の作品（6面）を完成させる。
- ②30cm×30cmの厚紙の中に、20cm×20cmの正方形をとる。
- ③20cm×20cmの正方形を6分割する。
直線、曲線・・・様々な線を使用可
- ④画面の6分割終了後、実際に使用する大きさと同じサイズの下紙にレイアウトを考える。



⑤それぞれの面の中で、一番好きな部分を拡大縮小し、6分割した画面にはめ込む。

⑥平面作品は、どこから貼り始めてもOKです。立方体には表裏ありません。すべてが正面であるという考えから、画面を一つにまとめた時も、すべて正面の集まりです。
*画面構成の工夫次第で、思いがけない作品の展開が待っています。



★制作風景

色紙を貼るだけの作業だけに、単純な作業ほど難しいことに作業を通じ実感する課題です。

■ 「20時間の形」完成作品

